

ニッポン ドクター和の 臨終区巻



この連載を始めてからおおかけ
 さまで2年以上がたちました。
 1回目は、昨年3月に隣臈(す
 いぞう)がんで亡くなったムッ
 シュかまやつさんのことを書き
 ました。「ザ・スパイダースよ
 永遠に！」と原稿を締めたので
 すが、またおひとり、メンバー
 の旅立ちが：名ギタリストとし
 て知られた井上堯之さま
 さん。通称・イノヤンが
 逝去。77歳でした。
 1970年にスパイ
 ダースが解散した後
 も、『太陽にほえろ』
 や『傷だらけの天使』
 など名作ドラマの音楽
 を手掛けたり、沢田研
 二のバックバンドやハ
 ウンドドッグのプロデ
 ューサー、近藤真彦が
 歌ってレコード大賞を

54 井上堯之

最期まで音楽とともい

肺気腫は、別名「タバコ病」といわれるCOPD慢性閉塞(へいそく)性肺疾患とほぼ同じ病態です。井上さんは当時ヘビースモーカーで1日30本ほど吸っていたと



影響を与え続けました。そんな井上さんの身体に異変が現れたのは95年のこと。初期の胃がんが見つかりましたが、見事に克服。しかし2009年、67歳のときには肺気腫と診断をされ、突然の引退宣言をしました。

しかし、徐々に進行して咳や痰が増え、やがて呼吸苦から死に至る病です。早期に発見し禁煙することが何よりも大切ですが、COPDの啓発が遅れているので、かなり進行するまで無

長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東大第二内科入局。1995年、大阪府尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人指す」総合診療を旨とする。著「菜のやめどき」は「痛くない死に方」は「いずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

いいます。14年の厚労省の調査によれば、病院でCOPDと診断された人は約26万人ですが、実際は推計530万人以上がいるという衝撃のデータがあります。喫煙による有害物質が原因の9割とも言われているCOPD。初期は階段を昇るときに息苦しさを感ずる程度なので「歳のせい」で片付けてしまいう人も多いのです。

自覚な人が多いようです。喫煙経験のある人は、40歳を過ぎたらぜひ健康診断などで「肺年齢」を調べてみてください。井上さんは引退後、北海道・小樽の病院へ行きました。ボランティアで重誼を歌い高齢者との交流を深め、新たな生き方を見つけたと本に書かれています。その後、再びがんも発症していたようですが、演奏活動を再開していききました。

昨年5月2日のムッシュかまやつさんのお別れ会では、スパイダースを再結成。往年の名曲を披露しファンを沸かせました。くしくも、それからちょうど1年後、5月2日の旅立ちとなりました。天国で今ごろ、かまやつさんと一緒にギターを弾いているのではないのでしょうか。